



—第九想—

38歳で真岡市長となり現在の真岡市の礎を築かれた、私の師であるI参議院議員が色紙に書かれる言葉に「やさしい心 つましい生活 それが人の幸せ」というものがある。

「やさしい」は漢字で書けば「優しい」である。つまり人の憂いである。人の憂いをわが身の憂いと感ずる心が「やさしい心」であろう。「つまり」は質素という意味である。物質的豊かさに反した、精神的豊かさとでも言つたらいいだろうか。

先月号に続いて「いいもんだ」を感じさせてくれた出来事がたくさんあつたが、その中の一つについて書きたい。

10月30日、東小学校の創立30周年記念式典があつた。式典の最後に花の種をぶら下げた風船を子どもたちが一斉に大空高く飛ばした。その風船にさわってみると、材質は自然に還る紙で出来たものであつた。海に落下したゴム風船をクラゲと見誤つて飲み込み、多くの海亀が悲惨な最期をとげていることを知つていた私は、風船と聞いたとき一抹の不安を感じたが、それは杞憂にすぎなかつた。私などよりずっとずっと、東小PTAの皆さんには進んでいたのだ。創造力という言葉はまさにこのようなことなのだと思いますが、この日は一日中幸せな気分であつた。

今年も、はや、師走となつた。岡田前町長の志を継ぎ、懸命に走つて來たが、月日の

。

政治は、我々一代だけのことを考えでするものではない。先祖様から受け継いだように、子どもたちにこの社会を、さらに良いものにして譲り渡したい。そう考えると、「便利であるから」「快適であるから」と限りある資源を我々が使い尽くしてよいものではない。「つましい生活」の中に幸せを感じられるような社会

この一年間に「いいもんだ」を感じさせてくれた多くの町民の皆さんのことゆつくりと思いおこし、私なんかよりもすばらしい生き方に教わりながら、2000年を迎えてくれた。

この一年間に「いいもんだ」を感じさせてくれた多くの町民の皆さんのことゆつくりと思いおこし、私なんかよりもすばらしい生き方に教わりながら、2000年を迎えてみたいと思う。

町長 記



東小学校30周年記念式典での風船飛ばし



60 広報たかねざわ

61 今年も、はや、師走となつた。岡田前町長の志を継ぎ、懸命に走つて來たが、月日の